

造影MRI検査を受けられる方へ

今回実施する検査は『造影剤』という薬剤を注射しておこないます。
この造影剤を用いることにより、病変の存在や性状などがより詳しく描出され、診断に大変、役に立ちます。
これは安全な薬剤ですが、まれに副作用が起こることがあります。
副作用は次のようなものです。

1 軽い副作用

吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、発現する確率は約5%で、100人に5人です。
基本的に治療は要しません。

2 重い副作用

呼吸困難・意識障害・アナフェラキシー症状（非常に強いアレルギー反応）・血圧低下などで、
発現する確率は約0.1%で、1千人に1人です。
治療・入院の必要があります。
そして体質などによっては、0.001%（10万人に1人）の確率で生命に危険が及ぶ場合
もあります。

以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強くなる場合もあります
ので、お申し出ください。

- 今までにMRI造影検査で過敏症による症状を起こしたことがある方
- 腎機能障害のある方
- 検査当日、体調の悪い方

副作用の予知について

初めて造影検査を受けられる方は 副作用を起こすかどうかをあらかじめ調べる方法は
現在のところありません。

副作用が発生した場合

検査中、少しでも身体に副作用の症状があれば、速やかに検査を中止し、処置できるように
しています。

造影検査後について

造影検査、数時間後に現れる遅発性副作用がまれにあり、検査後、体調に変化がありましたら
病院までご連絡ください。
また、造影剤のほとんどが尿として排泄されますので、水分を多めに摂取してください。

社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院

TEL：072-295-8833

私は造影検査の目的・副作用などについて説明を行いました。

西暦 年 月 日

依頼医師

社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院 病院長殿

私は造影検査の必要性和副作用について説明を受け、よく理解した上で 造影MRI検査を
受けることを同意します

西暦 年 月 日

患者氏名

代理人氏名

(患者との続柄)

造影MRI検査を受けられる方へ

今回実施する検査は『造影剤』という薬剤を注射しておこないます。
この造影剤を用いることにより、病変の存在や性状などがより詳しく描出され、診断に大変、役に立ちます。
これは安全な薬剤ですが、まれに副作用が起こることがあります。
副作用は次のようなものです。

1 軽い副作用

吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、発現する確率は約5%で、100人に5人です。
基本的に治療は要しません。

2 重い副作用

呼吸困難・意識障害・アナフェラキシー症状（非常に強いアレルギー反応）・血圧低下などで、
発現する確率は約0.1%で、1千人に1人です。
治療・入院の必要があります。
そして体質などによっては、0.001%（10万人に1人）の確率で生命に危険が及ぶ場合
もあります。

以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強くなる場合もあります
ので、お申し出ください。

- 今までにMRI造影検査で過敏症による症状を起こしたことのある方
- 腎機能障害のある方
- 検査当日、体調の悪い方

副作用の予知について

初めて造影検査を受けられる方は 副作用を起こすかどうかをあらかじめ調べる方法は
現在のところありません。

副作用が発生した場合

検査中、少しでも身体に副作用の症状があれば、速やかに検査を中止し、処置できるように
しています。

造影検査後について

造影検査、数時間後に現れる遅発性副作用がまれにあり、検査後、体調に変化がありましたら
病院までご連絡ください。
また、造影剤のほとんどが尿として排泄されますので、水分を多めに摂取してください。

社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院

TEL：072-295-8833

私は造影検査の目的・副作用などについて説明を行いました。

西暦 年 月 日

依頼医師

社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院 病院長殿

私は造影検査の必要性和副作用について説明を受け、よく理解した上で 造影MRI検査を
受けることを同意します

西暦 年 月 日

患者氏名

代理人氏名

(患者との続柄)